

広域的なアクセス・広場活用検討会議合同全体会の報告について

リニア推進部

1 リニア駅アクセス検討会議及びリニア駅前広場活用検討会議立上げの趣旨

リニア中央新幹線の整備効果を広域的に波及させ、それぞれの地域振興に活かしていくため、地域が持つ活用していきたい魅力などの情報を、どう大都市圏域に発信し、どう来訪者をいざなうかを具体的に検討していくための協議の場として、自治体や関係団体等による、二次交通をはじめとする交通関係の検討を行う「リニア駅アクセス検討会議」と、魅力の発信や駅前広場の利活用の検討を行う「リニア駅前広場活用検討会議」の2つの会議を長野県と共同で開催する。

2 リニア駅アクセス検討会議及びリニア駅前広場活用検討会議 第1回合同全体会

- (1) 日時 令和5年11月16日(木) 13時15分～14時30分
- (2) 会場 飯田市役所 C棟3階 311～313会議室
- (3) 内容 ① リニア駅アクセス検討会議及びリニア駅前広場活用検討会議の進め方について
② リニア長野県駅(仮称)整備に向けたこれまでの検討状況の概要について
③ 今後の各検討会議分科会の開催について

3 検討会議合同全体会において出された質問等の概要

- Q リニア駅前広場活用において駅周辺の賑わいや活性化は重要。周辺の商業施設やオフィス、ホテル等のゾーニングについて市はどのように考えているか。(長野県交通政策局)
- A 駅周辺の土地利用については、周辺の景観を含めて現在検討を進めている。市の検討状況は都度報告させていただく。(飯田市)
- Q 交通関係の検討における「地域居住者」や「各拠点」の想定は。(阿智村リニア整備対策室)
- A この検討会議においては広域的な交通について検討を進めていく。(飯田市)
- Q 住民に対しての説明に本日の資料を活用してもよいか。(高森町総務課)
- A 活用させていただいて問題ない。(飯田市)
- Q バス、タクシーについて、2024年の運転手不足問題がある。事業者責任ではなく、皆で地域の公共交通を守っていく姿勢で取り組んでいただきたい。(タクシー協会飯田下伊那支部)
- A 今後の分科会での大事な検討のテーマと考える。(飯田市)

4 リニア駅アクセス検討会議及びリニア駅前広場活用検討会議 第1回合同全体会出席者

<行政>

- ・長野県：DX推進課、交通政策課、地域振興課、信州暮らし推進課、産業立地・IT振興課、山岳高原観光課、リニア整備推進局
上伊那地域振興局、南信州地域振興局、木曾地域振興局
- ・広域連合：上伊那広域連合、南信州広域連合
- ・市町村：伊那市(企画政策課、観光課)、駒ヶ根市(企画振興課、商工観光課)、飯田市(リニア推進部、産業経済部、企画部、市民協働環境部、建設部)
辰野町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村
松川町、高森町、阿智村、下條村、売木村、喬木村、豊丘村、大鹿村
- ・OS参加：飯田国道事務所、飯田建設事務所

<民間団体、事業者等>

- ・DMO：長野伊那谷観光局、木曾観光連盟、南信州観光公社
- ・事業者等：バス事業者(アルピコ交通、伊那バス、信南交通)、タクシー協会飯田下伊那支部
伊那商工会議所、駒ヶ根商工会議所、飯田商工会議所、商工連南信支所
経営者協会上伊那支部、経営者協会飯田支部
上伊那産業振興会、南信州・飯田産業センター
- ・OS参加：JR東海